

謹賀新年

平成十六年 元旦



シャープ社友会
 広島支部会報
 ひびき 第29号

主要記事

4	3	2	1
5	面	面	面
面			

謹賀新年 お知らせ
 春夏秋冬
 会社との懇談会
 生活・健康アンケート集計

12	9	6
面	面	面
	11	8
	面	面

HOW DO YOU DO
 秋の旅ア・ラ・カ・ル・ト
 社友短信

セミナー&平成十六年賀詞交換会 ご案内

日時 平成16年1月16日(金)
 午前10時開会
 場所 ラポール広島 大ホール

セミナーの部

- am10:00 オリエンテーション
- 10:15 確定申告書の書き方
 税理士 相原 輝 男 氏
- 11:30 健康管理とストレッチ体操
 シャープ健康保険組合
 広島スポーツセンター 梅田所長



賀詞交歓会の部

- pm12:10 開会
- 14:00 散会



春から『やる気』

広島支部長 出口昌孝

新年明けましておめでとうございます。皆様には、益々のご健勝のことと存じます。

さて、昨年は皆様なりに生き甲斐を得られた年でしたでしょうか？

支部会員数も152名を超える規模となり、その年齢幅も一回りを超えるまでになりました。それぞれ人生での価値観も大きく変わりました。それぞれです。

新年を迎える度に、「一年の計は元旦にあり」の心得で、現役時代は目標をたてその実践に励んできたのですが、今ではそのバイタリティーも何時しか薄らぎかけているのではないかと懸念しています。

今回の生活アンケートでは、大半の方は、それなりに元気で、健康維持のため趣味を生かした運動を意識しながらの、悠々自適のように伺われます。定年直後の方の一部では現役延長型の環境を維持され、多忙の毎日でもあります。年代別では定年後の生活体験によってマンネリ化傾向も見受けられ、生活パターンが二極化にも三極化にも思えます。

特に趣味や生活パターンにおいても「何も決まったことではなく…」、「やりたいものがない…」と答えられた方も少なくありません。

また、「遠方のため…」、「知り合いが居ないから…」とか、定例行事や同好会にも不参加となる方のケースも多く、会報等の情報だけを楽

しまれている様子です。

これらを背景に考えるとき、規模の膨らみに見合った会員相互の親睦と交流活動に偏りが出来て、会員でありながら交流の無い名簿会員が増えるようにも思えます。

それはそれで今は満足されているようですが、今風の年齢に相応しい行動派になりませんか。支部相互は遠方ではなく日帰り距離と感じ

られる様になりたいものです。

そのために会をもっと利用すべきです。以前からもご紹介していますが、毎週月・水・

金には当番の方に社友会事務所に詰めていただき会員の問い合わせや交流のお相手をしていきます。

せめて月に一度は、気軽に立寄り、何か励みの動機付けを見つけてませんか。

参加の皆さんは、自分の趣味を生かした同好会を利用し、同じ趣味をもつ仲間を知り合い楽しんでいます。やりたい同好会の開設も歓迎しています。希望があれば提案していただきたく思っています。

この様に、会員の規模が膨らむにつれて定例行事に加え、共通の接点をもつ趣味を生かした同好会活動の輪を、さらに広げるのも必要と考えています。

また各地域での皆様の情報を、会報で紹介を求む希望も多く、季刊発行の会報「ひびき」には地元地域のPRを兼ねた話題でも結構です投稿をお待ちしています。

会報は片道情報だけでなく、会員相互の交流と親睦にも利用してほしいものです。

支部も先輩役員の10年の経過を世話役として引き継いでおり、規模に相応しい会員の参加活動を願えるように、今回のアンケートを参考にしながら行事計画を提案したいと考えています。

会員の皆様も今春を機に、「やる気」を起こして自分なりの目標を定め、組織を通じて活動できる姿が、後輩たちに羨まれる支部にしたいものです。

会社との懇談会

決算見通しと厳しき加わる諸環境

去る10月17日、社友会室にて総務部 堂本部長、重政副参事と社友会・紅葉会の役員との懇談会が行われました。

はじめに、出口支部長より各役員を紹介。続いて堂本部長が自己紹介と事業本部の現状、上期決算見通し、社友会への要望などについて話されました。以上厳しい情勢の中で頑張っておられる事業本部の様子を伺うことが出来ました。

広島事業所としての上期決算では、連結売上げ經常利益とも、過去最高になる見通しである。

しかし、これは昨年から海外向けに販売した携帯電話の伸張によるもので、国内売上げが微増に留まっている点、手放しでは喜ばない。

下期計画については、メインの携帯電話は、一九



2003年上期の決算見通しと、事業本部を取り巻く諸環境について説明される堂本総務部長(左)と重政副参事(右)

九九年のカラー化以降、獨創性を築いてきた当社であるが、各社との技術・コストとの競争も激しく目標達成も厳しい状況にある。

これからの携帯は画素数200万へのアップや、第3世代商品への展開が急がれる。

総務関連の業務として通信システム(事本)は3年前に比べ上期の売上げが1.9倍になり、急激な事業の拡大に伴って管理上の歪も生じている。

現在の広島事業所の人員は、外部委託社員一六〇〇名を加えて、三四〇〇名に急増しており、これらに対する対応が必要になっている。

1 食堂が手狭になり、現在3交代制で対応しているが抜本的対策も並行して検討している。

2 外部委託社員の入門や退門、保安、機密保持などに問題があり、総務部にセキュリティ、法律順守の専任チームを設けた。

3 数社でのアウトソーシングでの、労務条件の格差が生じない対策が必要になった。

4 特定部門の社員の長時間労働の解消。時間外管理の徹底とともに、該当者全員、産業医による健康診断を実施し、健康管理に最大限配慮している。

5 広島工場として発足してから36年経過した。老朽化による不測の災害を予防し、設備等の保

全保守担当の専任者を設けた。

最後に、社友会に期待する事として、これからもふれあいの場として同好会活動を活発にして頂きたいこと。また、CSR活動(企業の社会的責任)に対しても社友会の参加要請がありました。



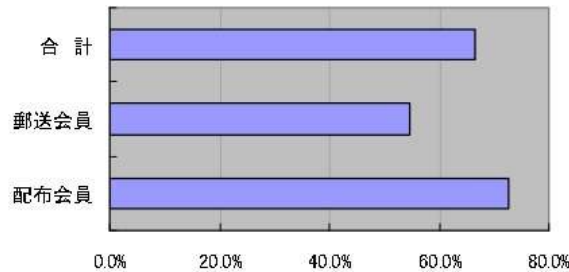
説明を聞く支部役員

生活・健康アンケート集計

60%は健康でも40%には、気懸かり



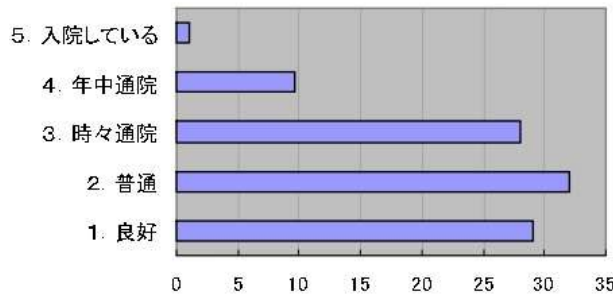
回収率



□回収状況
152名発送し102名の返信がありました。66%の回収率です。
郵送会員方々の回収率が悪いのは関心がないか、ご病気のなか心配な点が残ります。

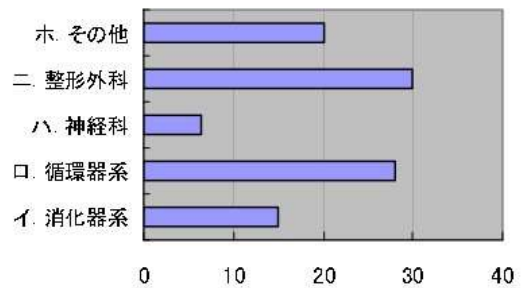
□健康状態
会員の健康状態は良好、普通と答えられた人達は66人で61%と、安心させられる報告となつていますがその一方何らかの形で40人の(約40%)人が通院をしています。

構成比(%)



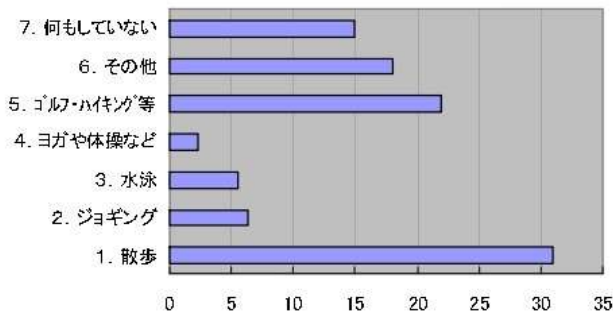
□通院項目
整形外科、循環器系で55%を占め腰、膝の治療、心臓、血流に關係する治療に掛かっている人が多い。また、その中には糖尿病、泌尿器系、がんの人もいます。
年齢的に高年齢者が多いのではなく、定年後2年ぐらいの人が多い。

構成比(%)

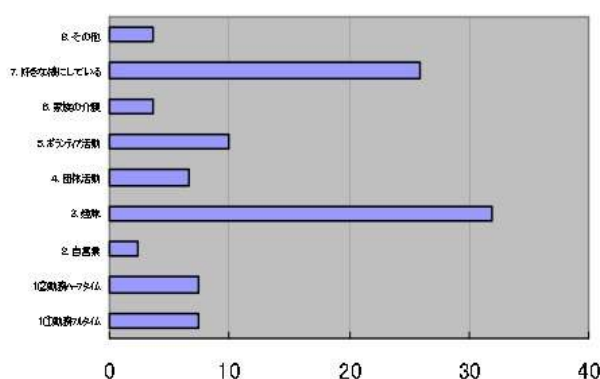


□健康維持
健康維持の為のベスト1は散歩。手軽で目標(1H等)の設定

構成比(%)



構成比(%)



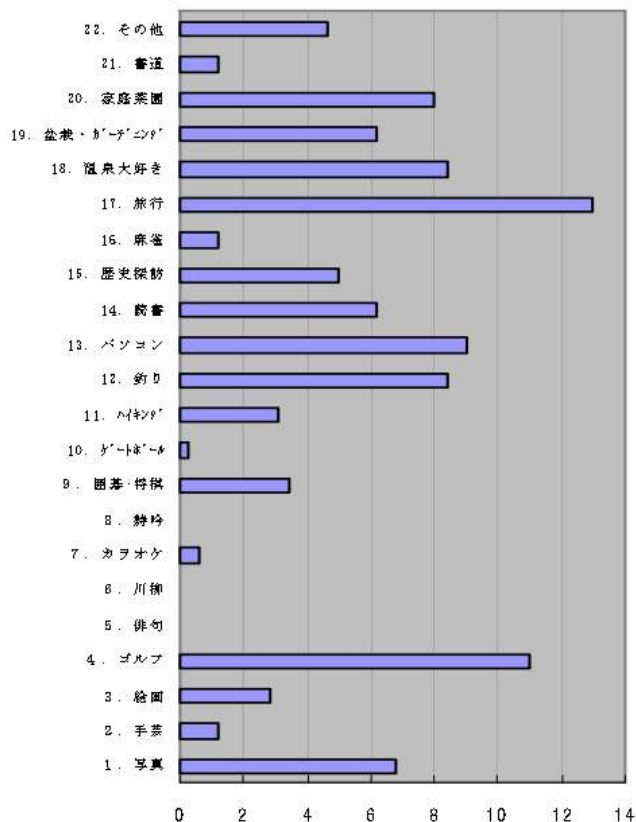
がしやすい。
2位はゴルフ、ハイキングでその他も多く、何もしない人が15%もいます。
その他は太極拳、社交ダンス、スポーツジム、テニス、菜園、杖道、自転車走行と自分に合ったものをされています。
★フルに働く人はそれが生活ベースになっていて又インフラで働く人は他の時間を家庭菜園、趣味で過ごしている。
□日々の過ごし方
自営は農業、と起業の人。家族の介護に追われている人がいる。
特に決まった事はなく好きな様になっている人が趣味も含めて58.5%を占める。

アンケート集計結果に応じて

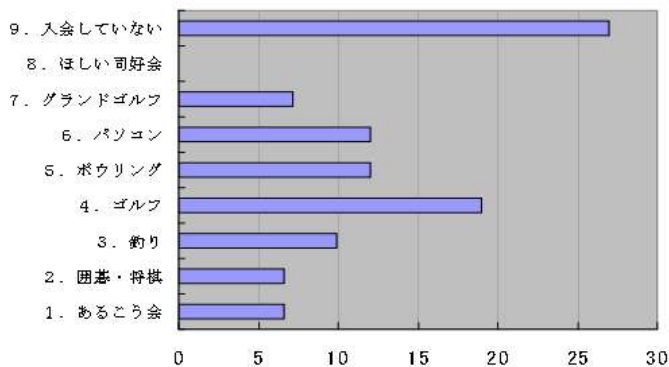
支部のIT環境の整備を急ぎます。

Eメールは来年度当初に。ホームページの公開は来年度内に！

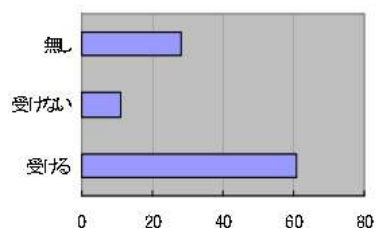
構成比(%)



構成比(%)



構成比(%)

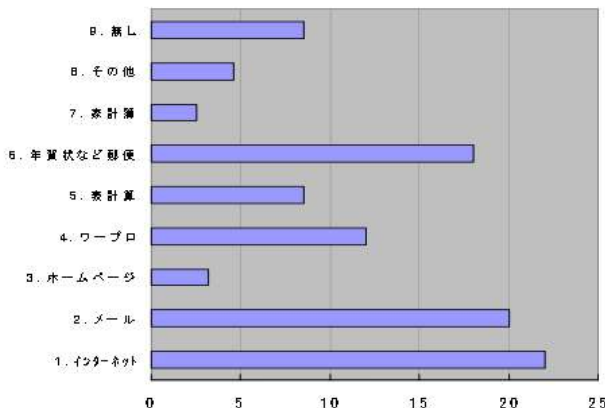


「前ページから続く」
 その他の中には病氣静養中の頑張っている仲間がいます。孫の世話、農作業、コンサルトと幅広い活躍が回答されています。
 □趣味について
 ベスト10
 旅行・ゴルフ・パソコン・釣り・温泉・家庭菜園・写真・盆栽・ガーデニング・読書
 その他では歴史探訪・民謡・ボウリング・陶芸・グランドゴルフ・日曜大工・オーディオ鑑賞・日本舞踊がありました。
 旅行、温泉の人氣が高く社友会旅行もさらに企画の内容が期待されます。

□同好会について
 全クラブに入っている活発な人が1名。5〜6の同好会に入っている人が各1名
 平均では二つの同好会に入っていることになりました。
 特に新しい同好会の提案はありません。
 □ご意見
 ☆新社友会室…非常に入りやすくなった。サロンの様なくつるげる雰囲気にしてほしい。
 ☆遠隔地の方々にも、月1度日帰り旅行のつもりで、おいで頂ける施策を検討されたらどうか。
 ☆”ひびき”..現状のまま続けてほしい。非常に楽しみにして

いる。本社関係の計報を記載して欲しい。
 □パソコンの利用
 半数以上の方がインターネット、メールをされていることが判りました。
 その他の利用方法ではデータ処理、画像処理、写真の整理、管理等に活用されています。
 □パソコンでの情報入手
 広島支部のIT環境の整備を急ぎます。Eメール環境は来年度当初に。支部のホームページ公開も、来年度中には！

(本稿 完)



釣 り

好・不漁は潮で決まる！
波浪の影響で二回も出港できず

今回の新入会員の紹介は、高橋文夫さんです。

彼は波止釣、舟釣、磯釣、イカダ、と又、投げ釣、ウキ釣、さぐり、と釣のことなら、なんでもこいの人です。ただし、釣ならなんでもするのと、釣が上手なのとは別です。

今回10月1日の釣行ですが、あまり釣れませんでした。6月にも釣れなかったのが、今年の不漁日は2回目です。

狙いはアジ、サバ、の青魚です。で、日によって好、不漁がありま

す。本当に釣りは難しいです。潮の流れ、大きさ、水温、天候、時間などによって釣れる日と釣れない日があるそうです。

毎月釣行の計画をしている日の条件は、潮の大きさです。

船頭さんの助言では、大潮から小さくなる潮の、中潮の最後か小潮の



最初の日が良いそうです。

その条件に合う潮は、月に2回あります。その日を予約するのですが、問題は天候です。1ヶ月前に予約しますが、その日の天気は2、3日前でないとは分かりません。

この日の天候はまずまずでしたが釣れませんでした。

今日は10月30日、参加者が少なく5人です。

船頭さんの話では、今年のアジ、サバ、が遅くまで釣れるそうです。

いつもの年ですと10月になるとアジ、サバ、は釣れなくなり、雑魚ねらいになるそうで、今年は1ヶ月ほど遅くまで釣れると聞いています。

今日もアジ（平アジ）、サバ、が良く釣れました。

ところが今年のは、タコが獲れなかったそうです。いつもですと大きなタコを、お土産に準備してくれるのですが、今年



ダメでした。しかし、イカ・カレイ・鱧（ほも）、海老、べらめ、鯛など土産の種類はいろいろあります。残念ながら11月19日、12月12日の両日は悪天候や波浪の影響で、中止しています。



4月に新田さんから、釣同好会を引き継ぎまして、8ヶ月が過ぎました。釣行先も倉橋から鹿島へ変えました。小平（船頭さん）も、私達と同じ目線で釣を楽しませてくれましたので、釣果はともかく楽しく1日を過ごすことができました。

釣のスリルには欠けませんが、お土産も有り、満足でした。

会員数も5人増え、22名になりました。

今後みなさんの意見を取り入れ、楽しい同好会にしていきます。

パソコン

平成15年の締めくくり

コーヒー&ケーキで大放談会

平成15年を振り返り、遭遇したトラブルの紹介から始まりました。新たに導入したアプリケーションやマシンの紹介もあって、チャレンジの内容に啓発されました。

支部で行ったアンケート調査ではパソコン活用者が60%を超え、社友会室の、環境整備に着手しておりますが、ただちにLANの構築にかかっています。

当日は、ブルマンに100円のシヨートケーキの、忘年会でもありました。新年度には、支部のホームページを作る！つもりです。



【第22回 新春ボウリング大会のお知らせ】

- ◇開催日時 1月24日(土) 10時開始
- ◇開催場所 賀茂ボール
- ◇参加費 2000円 当日会場にて
- ◇参加申込 1月14日(水)締切
申込みは社友会室ポスト
または推進リーダー(吉岡)まで
- ◇競技方法 2ゲーム合計得点で順位決定
ハンディキャップあり
- ◇表彰 優勝者にトロフィー(持回り)
&賞品、入賞者に賞品

初参加の方にも優勝のチャンスが大いにあります。多くの方々の参加をお待ちしております。

ボウリング

二〇〇三年の活動

「忘年会・定期総会」で締めくくる

明けましておめでとうございませう。早いもので、新世紀に入って四度目の新年を迎えました。

今年も元氣な一年が過ぎますよう、会員皆様のご健康とご多幸を祈念いたします。さて、我が同好会は、去る十二

月十三日に賀茂ボールで月例会を行い、終了後に「水軍の郷」で忘年会と定期総会を開催して、今年の活動を締めくくりました。

忘年会参加者二十一人が活けず料理に舌鼓をうちながら楽しく語り、一年間の健闘と健康を感謝しあ



グラウンドゴルフ

昨年この時期には四月から23回プレイした記録がありますが、今年11月から天候が悪かったのか21回で新しい年を迎えることになりました。

12月14日には、新入会の廣兼さんも含めて、忘年会として年金保養センターに付属のレストラン(プラトール)で食事会もち、今年の反省や積もる雑談をしてひとつの区切りをつけた気がします。

同好会の打ち収めは19日・新年の打ち初めは1月23日、そして少し暖かくなったら外部のコースでプレーすることも決めて散会しました。

忘年会食事会実施



いました。

尚、当総会で二〇〇四年度のリーダーとして次の方々が選出されています。

- ◇推進リーダー 吉岡 秀卓(社友会再任)
- ◇サブリーダー 細井 博文(社友会再任)
- ◇サブリーダー 川田美美子(紅葉会新任)

秋の親睦旅行ア・ラ・カ・ル・ト

一泊二日 天草・島原の旅

■今回の旅行の白眉は、なんとと言っても、近來にない夕食の『豪華にたっぷり』な内容でしょう。

活車海老が、手許から飛び跳ねるのも構わず、そのまま食した初体験の方々は、如何なる感想でしょうか。

■往路。山陽自動車道に乗ってからずうっと、小雨模様でした。天気予報通り、山口県に入ったら回復してきました。バスは東から西に向かって走ります。当然、太陽を背にして。

なんと云うことでしょうか。バスの前方には、虹のアーチが行けども行けども迎えてくれています。

■昼食は、大体にして土産物屋さんの二階とか、バス専用のドライブインとかに限られて、美味しい！と云えないこ



豪華にしてボリュームたっぷりのお膳

とが多い。

今回初日の昼食は、壇ノ浦PAで積み込んだ弁当。これが、意外とおしゃれ



見えないかなア。美祿市付近での虹のアーチ。

で品がいい。それに、美味かった。

■天草といえば、「入り日」が有名。その、落日を写そうと、満を持してホテルに入りました。未だ時間に余裕があると、ロケーションをチェックしたら、まさに睡然。ホテルの窓からは見えない！しかも、高圧送電鉄塔が目前。さっさと諦めました。

旅程	平成15年11月13日(木)～14日(金)
天候	往路の途中まで時々小雨 以降帰着まで快晴
参加者	社友会 21名 (内夫人同伴3名) 計24名 紅葉会 16名 総計40名
宿泊ホテル	国立公園・天草 松島観光ホテル 岬亭
実走行距離	1,090km

今回の旅行が社友会行事初参加の方々

荒木康弘さんには夕食懇親会での、「乾杯」の発声をお願いしました。



■天草は、真珠の産地でもある。土産屋には「天草パール」が並んでいる。天草五橋のうち、四橋を一望するビューポイントを独占する店では、なぜか「淡水真珠」も並んでいた。

■夕食は全部を食べきれなかった。残念ながら残ってしまった。

■一品出すたびに、残り品数を告知すべきでないか。後から出される方が美味いかもれない。それなら、目の前の、不味いかもしれない皿は手を付けなくても済むのに。

■そんなことを思いながら、夢路をたどった。



■やはり、宴たけなわの導火線は「カラオケ」になります。

■今回の旅行では、紅葉会のみなさんが、操作係りを一手に引受けてくれました。

■「カラオケ」のトリは、なぜか吉久さん。そして、定番の「キコロ」を熱唱。おつかれさん！



■最後は「東広島音頭」で総踊り。予定のコースなのか、アクシデントなのか。紅葉会の皆さんで東広島音

頭！のコールに、素早く準備の手拭が配られ、あれよあれよと全員が輪の中に。

かくして、初日は終わったのですが一部には終わらなかった方も、おいでのようでした。私と同室の、終わらなかった方は午前二時すぎで就寝されたようです。



天草五橋のパノラマ写真

相馬 實さん提供





■普賢岳の噴火に続く、火砕流や土石流による被害で、多くの方々が肉親を失い、土地や家屋も失った。道の駅「みずなし本陣ふかえ」には、土石流に埋まった家屋がそのままの形で保存展示されている。



■二日目。立ち寄る場所はみやげ物の店を兼ねている。出発時刻には、なにやら両手に持ってバスに乗る。自分の名前を記して、座席下のトランク区画に押しこむ。買い物ツアーめいてきました。どうやら横綱は、Y副支部長とD支部長、に見えました。
 ■夕日がダメなら朝日だ、と若干名が日の出を狙って出かけました。朝食が7時から。出発は8時で朝の入浴は六時半から。忙しかったでしょうね。おまけに早朝の天草は寒かったです。



水無川にかかる島原鉄道の鉄橋をトロッコ列車が渡る。かつての田畑の面影は無く、荒れた大地に何が見えるのだろう。

■本渡市の「殉教公園」。島原に渡るフェリー乗船に間に合うように、短時間の散策でした。天草といえば「キリシタン」であり、謎の人物「天草四郎」にまつわる話も多い。当時の宗教弾圧による悲劇を語る遺跡遺物も多い。それらに触れるには、又の機会を待つかないか。
 ■天草から島原へ。30分ほどの船旅でした。船尾では風も無く最後のビールで、至福のひとときを過ごしました。



■同行してくれた添乗員の佐々木絵美さん。縦横無尽でしたよ。佐々木企画担当幹事が、私の娘だと紹介していたが、本気に受け取った参加者がいた？



社友短信

□退会の会員

小池 勝義さん
木船 久さん

が退会されました。ご健勝を祈ります。

□一月からの社友会室の、「日直」当番に新入会の会員を含め担当頂けるメンバーが大幅に増えました。

日直を行うに当たって、いくつかのルールもあり、初めて担当いただく当日には、役員が手順をご説明することになっています。

□あるこう会の皆さんは、12月16日に神戸のルミナリエをウォークしたそうです。

本来なら、同好会の活動報告HOW・DO YOU・DOでご案内すべきですが、紙面の都合でこの欄に載せました。

写真は、リーダーの濱川さんの撮影した二枚

新会員のご紹介

いとう のぶお
伊藤 宣夫さん No.2769

いしばし とみえい
飯干 富栄さん No.2788

よしおか よしゆき
吉岡 嘉之さん No.2800

こにし よしかず
小西 慶和さん No.2810

たかはし ふみお
高橋 文夫さん No.2815

はなぶさ いまむ
花房 勇さん No.2817

やすやま ただたか
泰山 忠孝さん No.2818

まかぐち ゆういち
阪口 勇一さん No.2831

なかにし やすのり
中西 康憲さん No.2827

うじけ かつのぶ
氏家 和信さん No.2840

さいとう ままたか
齋藤 正孝さん No.2847

たにみず たけし
谷水 毅さん No.2848

12月19日現在の支部会員数
161名



の合成だそうです。一行は、旅行会社のツアーに合流して日帰りの強行軍のうえ、あまりの群集で途中から個別行動になったそうです。

編集後記

□新年おめでとうございます。

平成十六年は、どんな年になるのでしょうか。年金受難の新しい年になりますか。現役の皆さんにとっては、この先ますます暗くなっていくのでしょうか。確実に税金だけが増えていくことになるのでしょうか。

少しも、めでたくない新年の気がします。

□生活・健康アンケートの集計結果をチラッと見た限りでは、何かしてまずかの問いに、何もしてないか或いは、何でもやってやるうの、両極端に回答が多い気がします。

活力の源は何処にあるのか、気力が萎えるときには…と考えると、やはり「健康であること」が全てのよう気がします。

□昨年は秋になって、体を動かすことが少なくなって、ゴルフ同好会コンペも不参加が増えました。今年は、少し付き合いの範囲を狭め、趣味の整理も行って、一点豪華主義でいきましようか。

□支部の会員数が一六〇名を超えました。次の定期総会頃には二〇〇名を超えていそうです。となると、昨年予想した三〇〇名突破はもうすぐだ。そうなりや大変だ。支部のホームページ公開が現実問題となる…。

(裕)